

平成 27 年 8 月 14 日
株式会社早稲田アカデミー

夏期合宿期間中に発生した貴重品の盗難について

1. 事実

平成 27 年 8 月 8 日から 12 日までの 4 泊 5 日で、中学校 3 年生対象の勉強合宿を、長野県の志賀高原にある 16 のホテルに、4174 名が分泊する形で実施されました。このうちの 1 つのホテルにおいて、生徒様からお預かりした貴重品が盗難の被害に遭いました。

このホテルには、男子生徒 343 名が宿泊しており、このうち 325 名から、貴重品をお預かりしました。貴重品の内訳は、お財布 316 人分、携帯電話 118 台、その他（音楽プレーヤー・Suica・PASMO 等）でした。貴重品は、各部屋ごとに布製の袋に入れられ、袋の総数は 48 袋でしたが、その全ての袋が何者かによって盗み出されてしまいました。

2. 経過

（時系列）

生徒様から貴重品を回収したのは、8 月 8 日の 16 時から 18 時の間でした。

回収した貴重品の所在を確認した最終時刻は、8 月 9 日の午前 2 時頃でした。

翌朝、貴重品がなくなっていることに気付いたのは、8 月 9 日の午前 7 時前頃でした。

その後、スタッフ全員でホテル内及び周辺を探したものの見付からず、ホテルの方にもご協力頂いて従業員の方の部屋やバックヤードについてもくまなく探しましたが発見することができなかつたため、午前 10 時頃に警察に連絡をしました。

（状況）

お預かりした貴重品を入れた 48 の袋は、5 つの段ボールの箱に入れ、スタッフの詰め所に置いてありました。

スタッフの詰め所は「本部」と称し、「手前側」と「奥側」とに便宜的に分割し、「手前側」は講師の授業準備やミーティング等で利用し、「奥側」は主に休憩スペースと荷物置き場として利用していました。貴重品の袋を入れた段ボール箱は、この「奥側」のスペースの一番奥の壁際に置いていました。

「本部」は、ホテル玄関とロビーから続く多目的のスペース（冬期は喫茶等で利用されているスペース）で、ロビーとの間に間仕切りはなく、また「手前側」と「奥側」の間も可動式のホワイトボードで簡易的に間仕切っていたものであり、施錠ができる独立したスペースではありませんでした。

貴重品を入れた袋は 48 袋全てが盗み出されており、その袋を入れておいた段ボール箱 5 箱は、そのまま残っていました。

3. 原因

お預かりした貴重品は、本来はホテルのフロントに預け、ホテル側の管理下で金庫等施錠された場所で保管されるべきものですが、今回のホテルではこのプロセスが履行されておらず、管理の手順に明確な落ち度がありました。

また今回貴重品を保管していた場所は夜間3～4時間は無人となることがあり、ホテルの玄関も24時間出入りが可能な状況でした。

貴重品袋48袋を、何者がどのように運び出したのか等につきましては、現在は長野県警の捜査が続いている段階であり、詳しいことは判明しておりません。

4. 今後の対策

(被害に遭われた方への対応)

今後、個別に被害の内容を精査させて頂き、それらについては全て補償させて頂きます。また盗難品の中に携帯電話が含まれる方については、代替機への手続き等で発生した実費についても、全て補償させて頂きます。(清算の手順等、詳細につきましては、順次ご案内して参ります。)

携帯電話の盗難による個人情報の流出に関するリスク対応、またそれらに対する補償についても、本社内に「対策本部」を設置し、継続的に誠意を持って対応させて頂きます。

(次年度の夏期合宿に向けて)

貴重品の管理方法について抜本的な見直しを図ります。ホテルの施錠に関するルールも全面的に見直すこととします。本社内に「夏期合宿のリスク管理に関する委員会」を設置し、貴重品の管理以外の様々な領域も含めて、改善を図って参ります。

この度は、このような事態となり、保護者の皆様、塾生の皆様に多大なるご迷惑、ご心配をおかけすることになりましたこと、心より深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。会社として、責任を持って対処させて頂きますので、何卒よろしくお願い致します。

お問い合わせ先：

夏期合宿における貴重品の盗難に関する対策本部
(本社運営部内)

TEL 03-5992-5741

FAX 03-5992-5855

Mail t-honbu@waseda-ac.co.jp